

東京精神科病院協会誌（別冊 34 号）へのご寄稿について

1 協会誌名

東京精神科病院協会誌 別冊 第 34 回東精協学会特集

2 発行時期

令和 5 年 3 月（予定）

3 原稿作成・文字数

別紙「東京精神科病院協会誌（別冊 34 号）原稿見本」を参考に Word にて作成してください。

文字数は 1,800～2,700 字（**製本は図表を含め B5 版 3 頁以内**）といたします。

※抄録原稿で、応募時から変更になっている箇所は、協会誌の原稿にも反映させてください。

※原稿が規定の 3 頁を超えた場合、文字縮小、行間詰、文章の一部省略等をお願いする可能性があります。

4 締切

令和 4 年 11 月 8 日(火)

5 校正

原稿は①事務局確認②執筆者ゲラ刷校正を経て、広報委員会で校正いたします。語尾など文章の言い回しを修正する場合がありますので、ご了承ください。

校正刷は令和 5 年 1 月頃に発表者宛に郵送いたします。

6 留意事項

①原稿提出は任意ではありません。発表者全員が必ずご提出ください。

②原稿は必ず貴院幹部職員が目を通されたうえでご提出ください。

7 その他

当協会誌は文献検索サイトの J-GLOBAL に登録され、ネット上よりタイトル等が閲覧可能となります。下記サイトをご参照ください。

科学技術総合リンクセンター J-GLOBAL <https://jglobal.jst.go.jp/>

8 問合せ先及び送付先

一般社団法人 東京精神科病院協会事務局 担当：引本

Tel：042-352-0541 E-Mail：gakkai@toseikyo.or.jp

以上

□演題 A1-1□

演 題 名
- サ ブ タ イ ト ル -

東精協病院	看護師	◎東精協太郎	東精協花子	東精協次郎
	精神保健福祉士	東精協三郎	東精協四郎	東精協五郎
	作業療法士	東精協六郎		

(3名以上は改行)

1. 目的

- (1) □□□□□□□□
□□□□□□□□
- ① □□□□□□□□
□□□□□□□□
- ② □□□□□□□□
□□□□□□□□

(2)

2. 方法

- (1)
- (2)

3. 結果

- (1)
- (2)

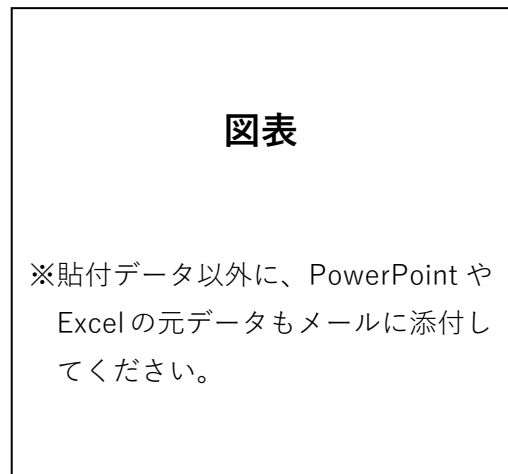
4. 考察

- (1)
- (2)

5. 総括

- (1)
- (2)

図表1 タイトル (左寄せ)



※貼付データ以外に、PowerPoint や Excel の元データもメールに添付してください。

<引用・参考文献>

- 1) 東精協太郎:診療報酬改定について.東精協誌,30 (132) :5-16,2012.
- 2) 厚生労働省精神保健福祉対策本部:精神保健医療福祉の改革ビジョン. 厚生労働省,2004.9, <<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/09/dl/tp0902-la.pdf>> (2012.1.10)
- 3) 東精協二郎,東精協三郎,東精協四郎 編集:米国精神医学会治療ガイドライン第2版.医学書院,東京,2008.
- 4) Zubin J, Spring B: Vulnerability a new view of schizophrenia. J Abnorm Psychol 86 (2) :103-126,1977.

①演題名

演題名は原則、抄録原稿と同じ内容で記載し、サブタイトルは「-」で括ってください。

②氏名・所属

演題名の下に病院名、職種、氏名をご記載ください。発表者及び共同発表者は原則、演題応募時と同様となります。変更がある場合は原稿送付の際、事情を添えてください。

※発表者氏名に◎印を付記してください。

※氏名は職種別に並列させ、3名以上となる場合は改行してください。

③見出し

本文は、1.目的 2.方法 3.結果 4.考察 5.総括の順に作成してください。

項目ごとに次の順で見出し番号をお振りください。

1. 2. 3.〔半角〕→(1)(2)(3)〔全角〕→①②③

④倫理性への配慮

原稿作成にあたっては、個人情報の取扱いに十分に注意し、各施設の研究倫理規程などを遵守し、倫理的指針などに従ってください。特に患者や家族を対象とした研究においては、十分なインフォームドコンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、個人が特定できないように表現には十分留意してください。

【固有名詞はイニシャルではなく、A、B、C等で記載してください】

「東精協太郎氏」「東精協花子氏」→「A氏」「B氏」

【年については、治療者と関わりを始めた年をX年とし、X-1年、X+3年等の表現を用いてください】

「2007年7月」「2009年9月」→「X年Y月」「X+2年Y+2月」

【年齢や居住地等の表現についてもご留意ください】

「39歳」→「30歳代」 「0～1歳半ごろ」→「乳児期」

「1歳半～6歳頃」→「幼児期」 「6～13歳頃」→「学童期」

「13～22歳頃」→「思春期」 「神奈川県」→「A県」

⑤商標名

医薬品や栄養補助食品、介護用品、医療機器等は商標名ではなく、一般名でご記載ください。

例) 「タミフル」→「オセルタミビル」 「レスタミン」→「ジフェンヒドラミン」

「エンジョイゼリー」→「栄養補給ゼリー」

⑥省略語は原則として使用できません。ただし、演題名及びポスターに3カ所以上記載する場合に限り使用できます。省略語を使用する場合は、東京精神科病院協会（以下、東精協）のように初出の時に元語（以下、略語）を記載してください。

例) 看護師→Ns. 医師→Dr. 精神保健福祉士→PSW 作業療法士→OT

臨床心理士→CP 理学療法士→PT 言語聴覚士→ST

患者→Pt グループホーム→GH 統合失調症→S 訪問看護→訪看 浣腸→GE

他患者→他患 リハビリテーション→リハ ポータブルトイレ→P トイレ

⑦表記統一

- ・本文中の英数字は半角に統一してください。
- ・年号を記す際は原則、和暦、西暦のいずれかに統一してください。

（⑨引用・参考文献の「発行年」は原本どおりにご記載ください。）

⑧図表

図表は本文へ差し込みのうえ、Powerpoint や Excel の元データもメールに添付してください。

「図表」のタイトルは上部（左寄せ）にご記入ください。

⑨引用・参考文献

<引用・参考文献>とタイトルを付け、「執筆者名（訳者名、編集者名）：論文タイトル、刊行物名、巻数（号）：ページ数、発行所、所在地、発行年。」の順に記載し、「見本」のように統一してください。

注1：著者多数の場合は3名を記載し、その他は「他」「et al」と記載してください。

注2：電子媒体からの文献引用は、電子媒体以外に文献が存在しない場合に限りです。

記載順は、執筆者名：論文タイトル、Webサイト管理団体、掲載日、〈アドレス〉（最終閲覧日）としてください。